

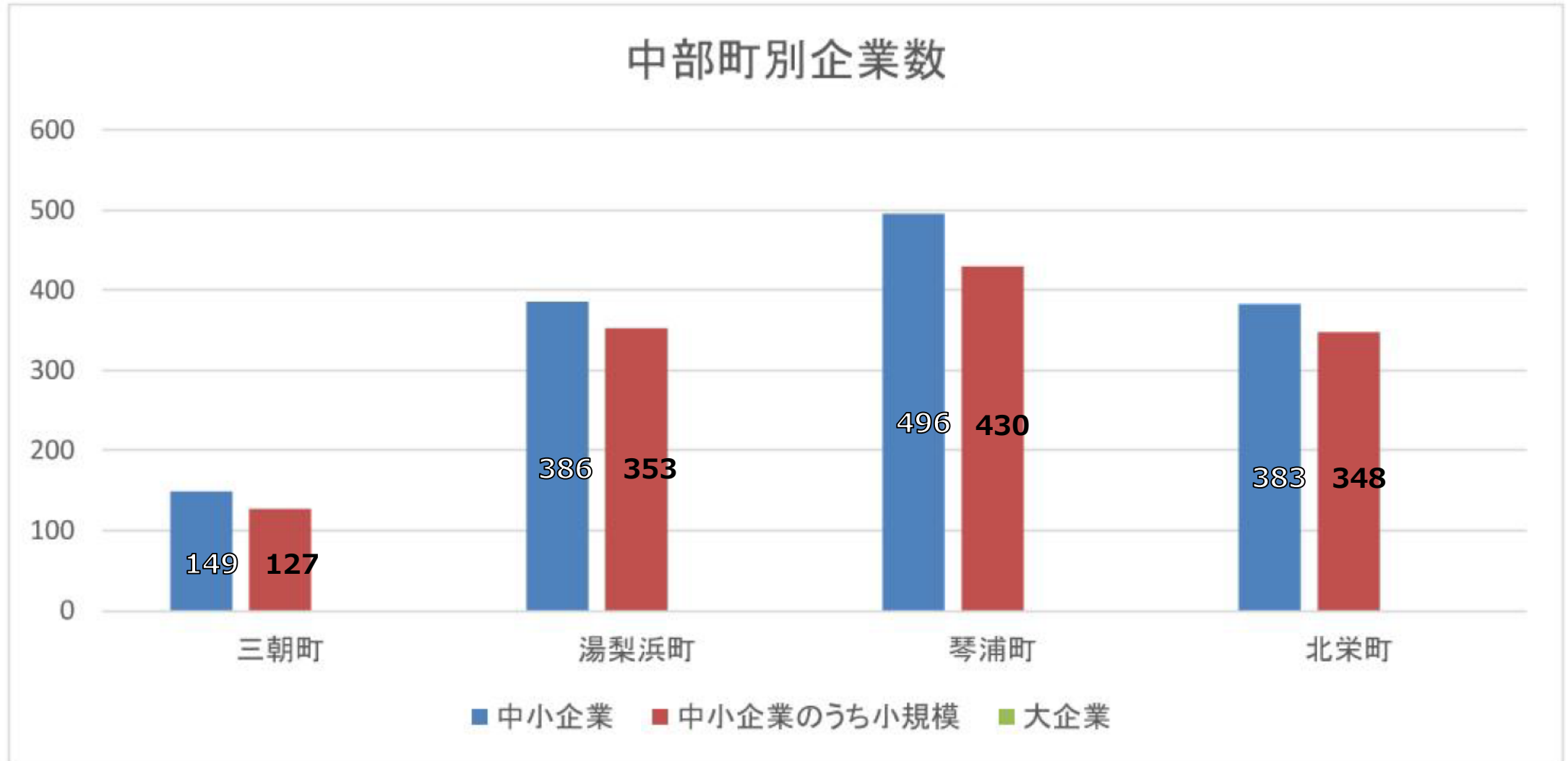
# 北栄町の 産業と農業について

令和元年10月19日 ほくえい未来トーク

# 北栄町の産業

1. 北栄町の中小企業数
2. 産業別事業所数
3. 事業所数推移
4. 町内事業所の支援体制
5. 事業所に対する町の支援事業
6. 創業支援件数
7. 増築・設備投資支援件数
8. 有効求人倍率

# 1. 北栄町の中小企業数

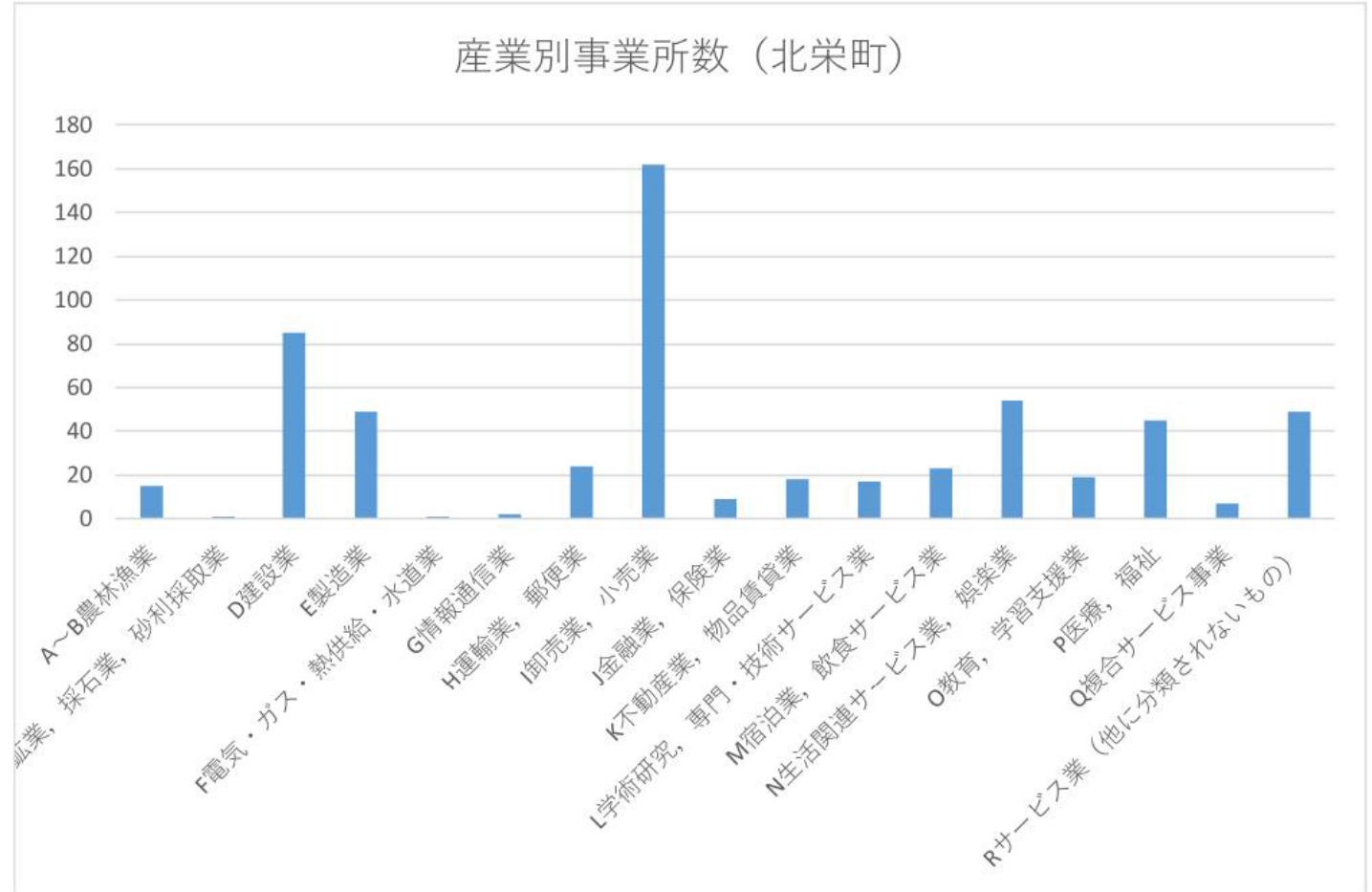


# 2. 産業別事業所数

産業別事業所数（北栄町）

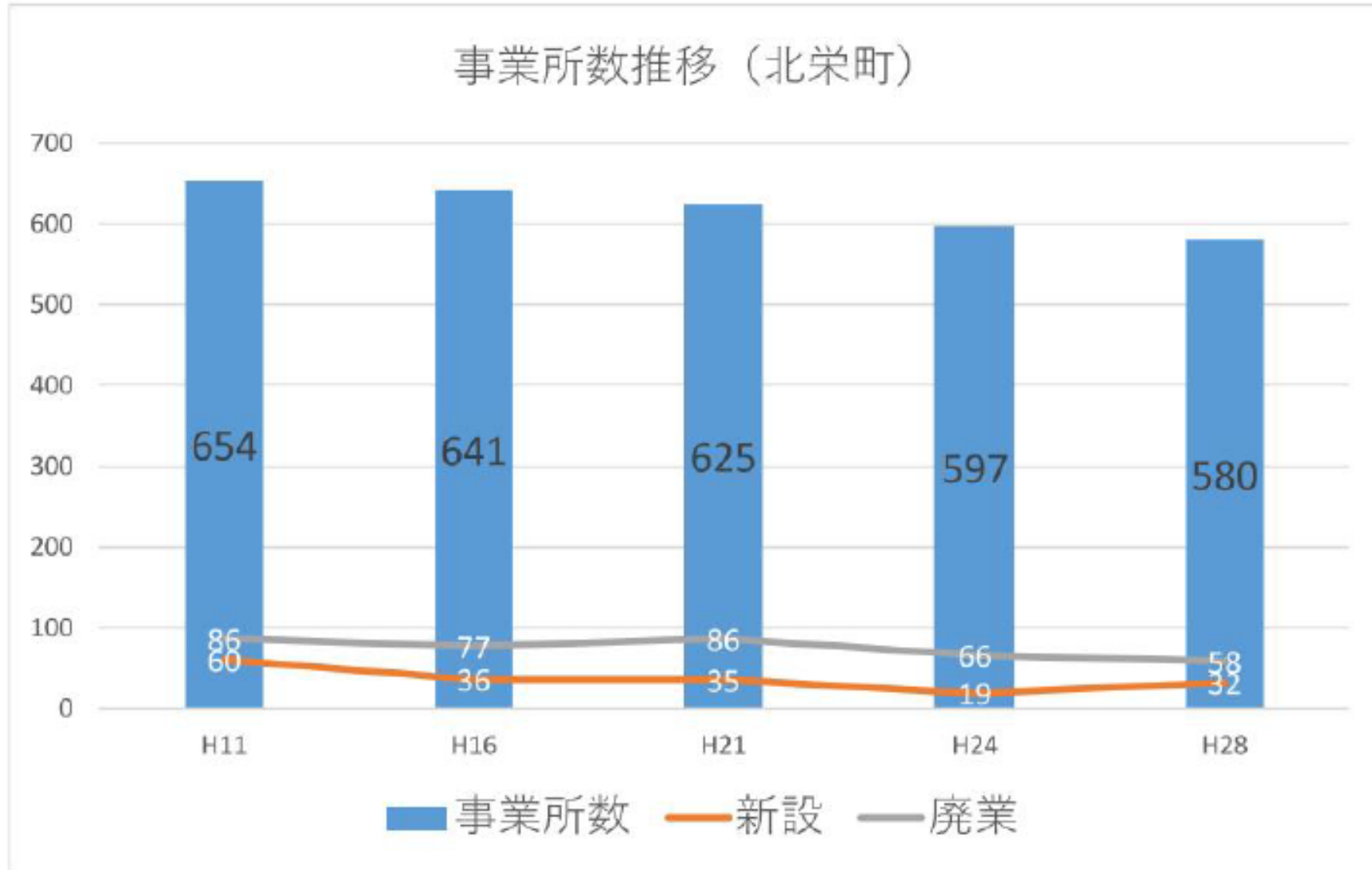
H28_産業分類	事業所数
A～B農林漁業	15
C鉱業，採石業，砂利採取業	1
D建設業	85
E製造業	49
F電気・ガス・熱供給・水道業	1
G情報通信業	2
H運輸業，郵便業	24
I卸売業，小売業	162
J金融業，保険業	9
K不動産業，物品賃貸業	18
L学術研究，専門・技術サービス業	17
M宿泊業，飲食サービス業	23
N生活関連サービス業，娯楽業	54
O教育，学習支援業	19
P医療，福祉	45
Q複合サービス事業	7
Rサービス業（他に分類されないもの）	49

※事業所・・・個人、法人、法人でない団体



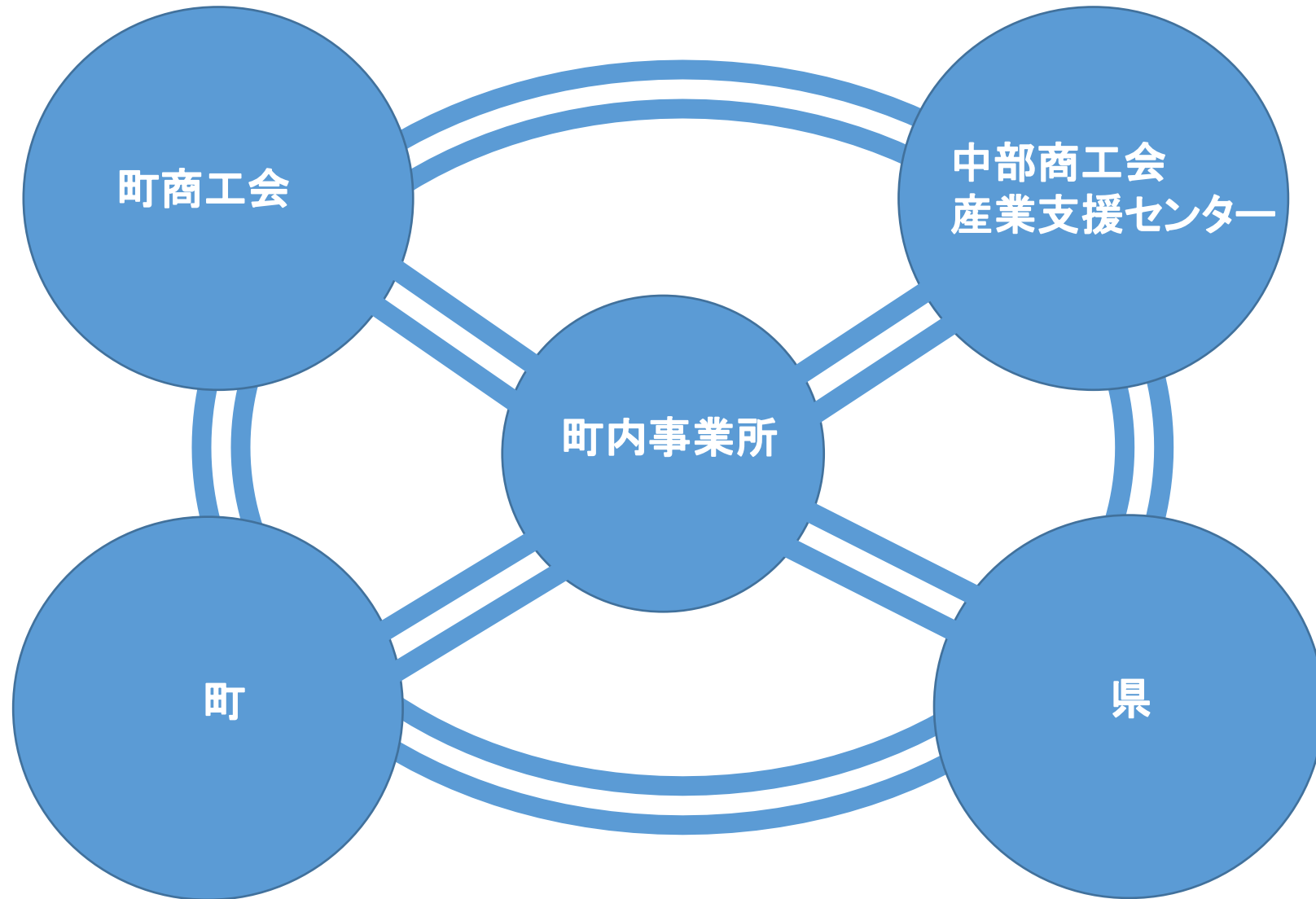
<平成28年経済サンセス>

# 3. 事業所数推移



< H24、H28経済センサスー活動調査 >  
< H21経済センサスー基本調査 >  
< H11～H16事業所・企業統計調査 >

## 4. 町内事業所の支援体制



# 5. 事業所に対する町の支援事業

事業名	内容
産業振興奨励金事業	<p>町内に工場の新設・増設を行う場合に以下のとおり支援します。</p> <p>①企業立地等促進奨励金 設備投資に係る固定資産税相当額を3年間奨励金として交付します。 条件:投下固定資産額300万円以上、町内新規常用雇用1人以上 (増設の場合は常用雇用者数を保持又は増加→H29.3月要件緩和)</p> <p>②雇用促進奨励金 町内者の正規常用雇用3人以上(増設の場合は1人以上)の場合、1人につき30万円(上限600万円)を奨励金として交付します。</p>
創業支援事業補助金	<p>町内で、新しく事業を開始される方を支援します。(現在事業を営んでいない個人が対象)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業所開設支援事業 補助率2分の1 補助限度額100万円</li> <li>● 経営支援事業 補助率2分の1 補助限度額50万円</li> <li>● 雇用促進事業 町内者の正規雇用1人あたり30万円 上限3人</li> </ul>
由良宿まちづくり活性化支援事業	<p>由良宿に地域を限定して、創業・第2創業・移動販売等を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業所開設支援事業 補助率2分の1 補助限度額100万円</li> <li>● 経営支援事業 補助率2分の1 補助限度額50万円</li> <li>● 雇用促進事業 町内者の正規雇用1人あたり30万円 上限3人</li> </ul>

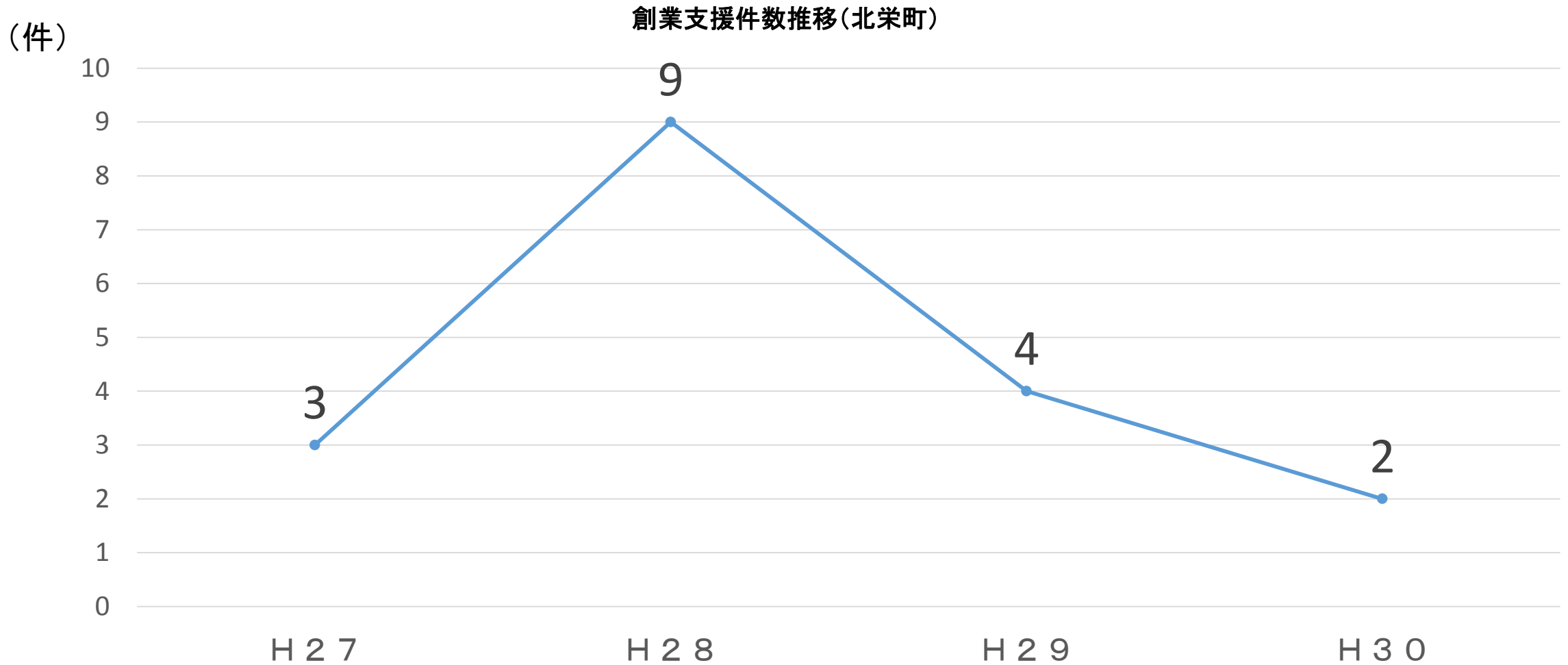
事業名	内容
インターンシップ実施事業者補助金	<p>町内事業者が行うインターンシップ事業に対し補助金を交付します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 協力事業所補助金 1日当たり6,000円に延べ受入日数を乗じて得た額とし、1事業所につき年間6万円を上限として補助します。</li> <li>● イベントPR補助金 1事業所あたり年間最大5万円（旅費・消耗品費・印刷製本費・参加負担金等）</li> </ul>
小口融資貸付事業	<p>設備・運転資金の融資制度です。町が資金の一部を預託し、審査のうえ、金融機関から貸付を受けられます。</p> <p>利率1.66 %（H30.4.1現在） 融資限度額2,000万円</p>
マル経融資利子等補助事業	<p>町内事業者が、マル経融資（小規模事業者経営改善貸付）、衛経融資（生活衛生改善資金貸付）を受けた場合、借入から3年間、利息の1/2を補助します。</p>

### <その他>

- 北栄町中小企業小規模企業振興基本条例（平成30年4月施行）
- 北栄町中小企業小規模企業振興基本計画（平成30年12月施行）



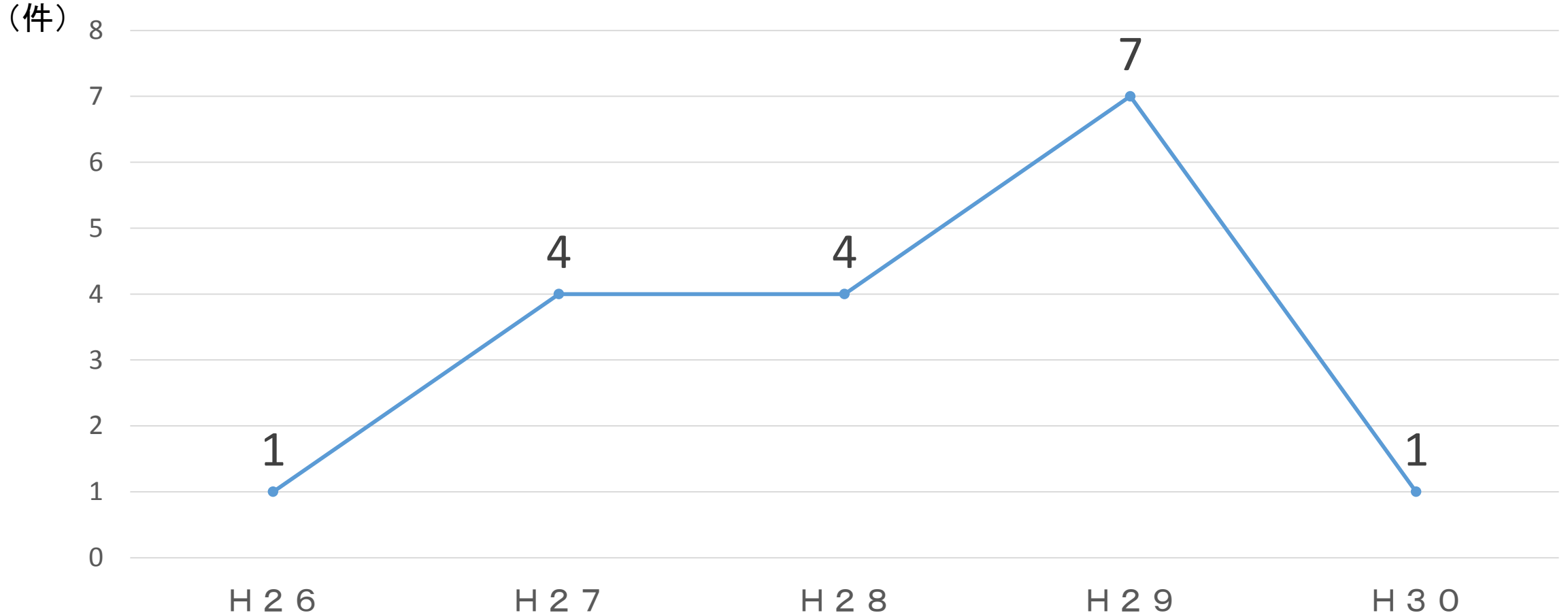
# 6. 創業支援件数



※創業支援事業H27～

# 7. 増築・設備投資支援件数

設備投資・増設件数推移(北栄町)





# 北栄町の農業

1. 北栄町の農業環境
2. 主要作物の状況
3. 農業者数推移
4. 新規就農者数
5. 新規就農者向け支援
6. 有害鳥獣の捕獲頭数推移
7. 有害鳥獣被害を防ぐための対策
8. 有害鳥獣被害を防ぐための具体的対策

# 1. 北栄町の農業環境

黒ぼく地帯では、スイカを中心としたハウス栽培がおこなわれ、西高尾ダムからのかん水により、秋冬野菜とともに周年栽培がおこなわれています。

かつては、荒れ狂った砂丘地でしたが、江戸期に入ってから黒松による砂防造林が進み、冬期における北西の季節風による激しい砂の侵食も徐々に沈静化しました。さらに先人たちの努力によって不毛の地であった砂丘地へ、戦後全国でもいち早く天神川からのかんがい設備が整備され、ぶどう、らっきょう、ながいも、白ねぎ等さまざまな作物が栽培されるようになりました

西瓜



長いも



らっきょう



ぶどう

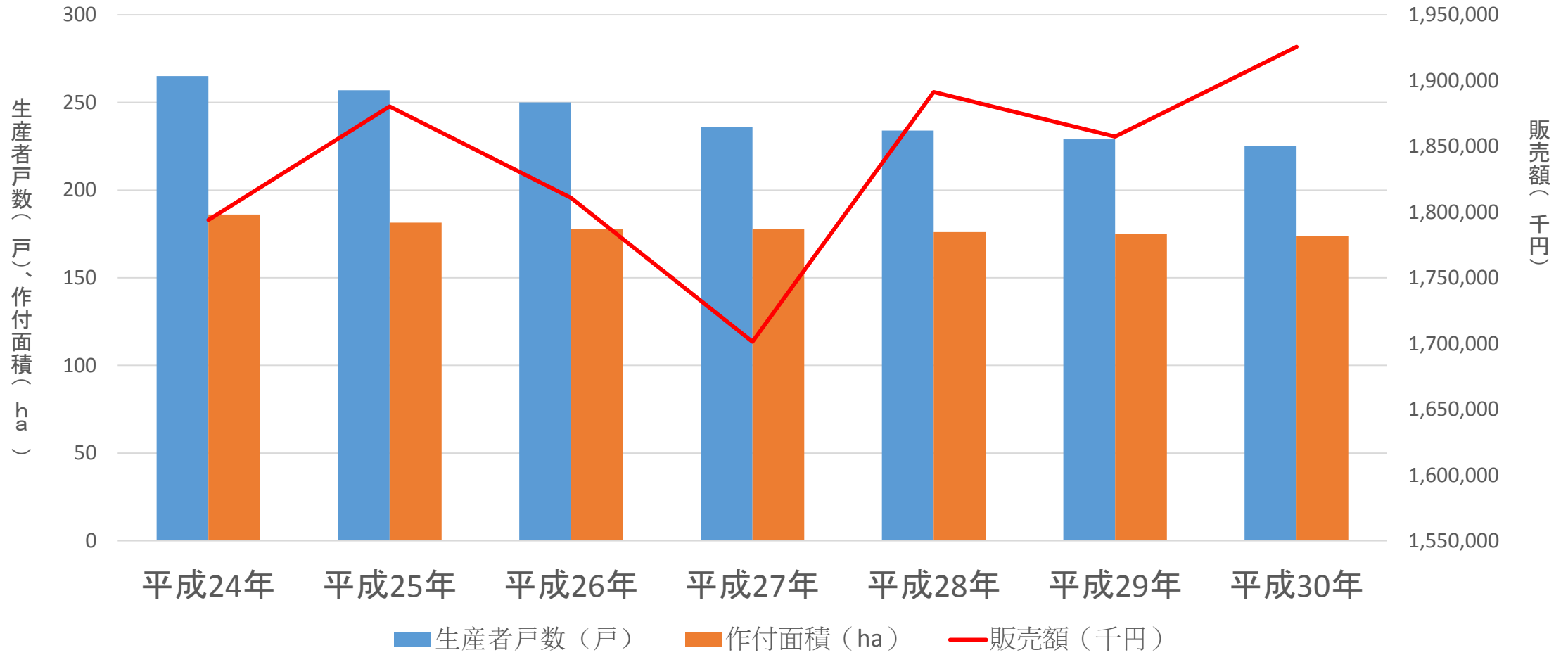


## 2. 主要作物の状況

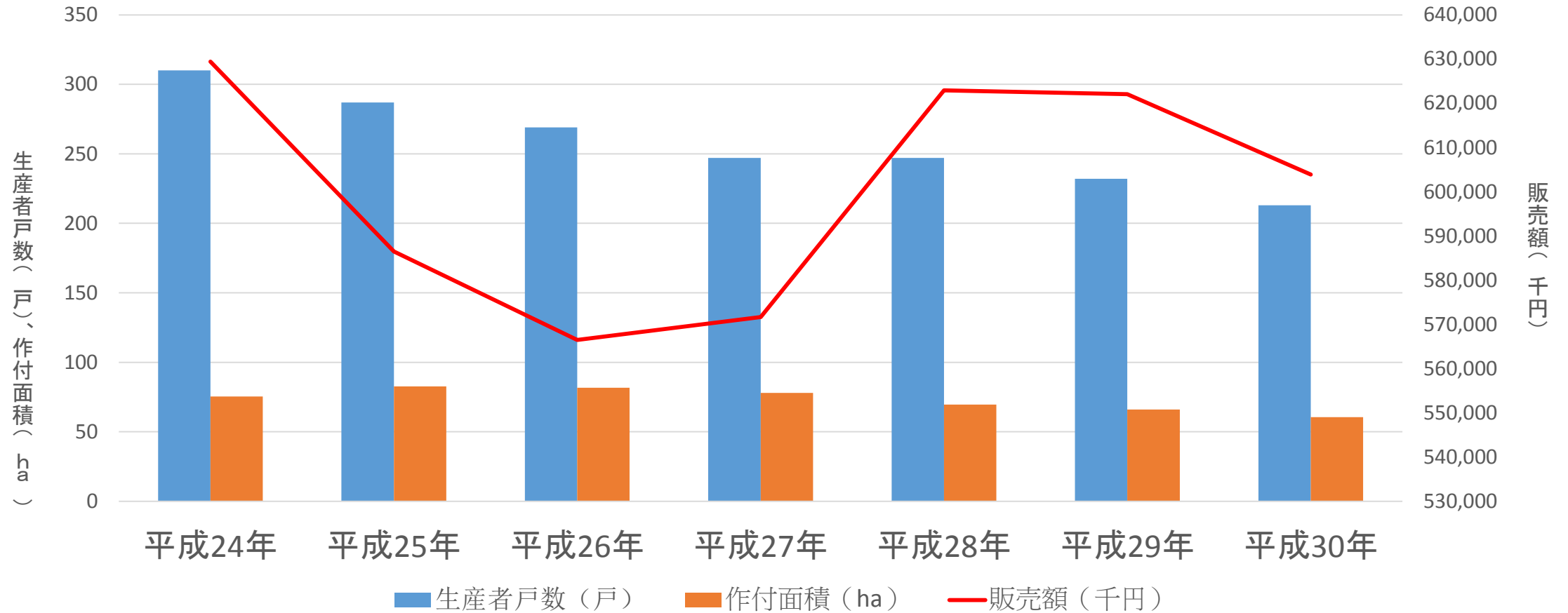
		平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
西瓜	生産者戸数（戸）	265	257	250	236	234	229	225
	作付面積（ha）	186.1	181.5	178.0	177.8	176.0	175.0	174.0
	販売額（千円）	1,794,016	1,880,243	1,810,758	1,701,370	1,891,146	1,857,353	1,925,659
らっきょう	生産者戸数（戸）	310	287	269	247	247	232	213
	作付面積（ha）	75.4	82.6	81.7	78.0	69.6	66.0	60.6
	販売額（千円）	629,446	586,479	566,469	571,648	622,923	622,050	603,895
長芋	生産者戸数（戸）	120	114	107	103	103	86	86
	作付面積（ha）	17.14	15.11	13.86	10.60	8.31	7.36	7.36
	販売額（千円）	123,091	139,899	90,084	82,529	71,902	62,000	58,456
ねばりっこ	生産者戸数（戸）	92	94	95	100	100	102	104
	作付面積（ha）	11.83	12.76	15.69	17.72	22.55	24.03	26.16
	販売額（千円）	167,129	215,623	223,398	263,133	312,845	395,369	362,970
ぶどう	生産者戸数（戸）	128	128	127	118	116	113	110
	作付面積（ha）	32.2	33.5	32.3	31.3	30.4	27.0	23.9
	販売額（千円）	198,642	185,448	170,237	186,185	183,858	180,545	186,411

<JA調べ>

# 西瓜

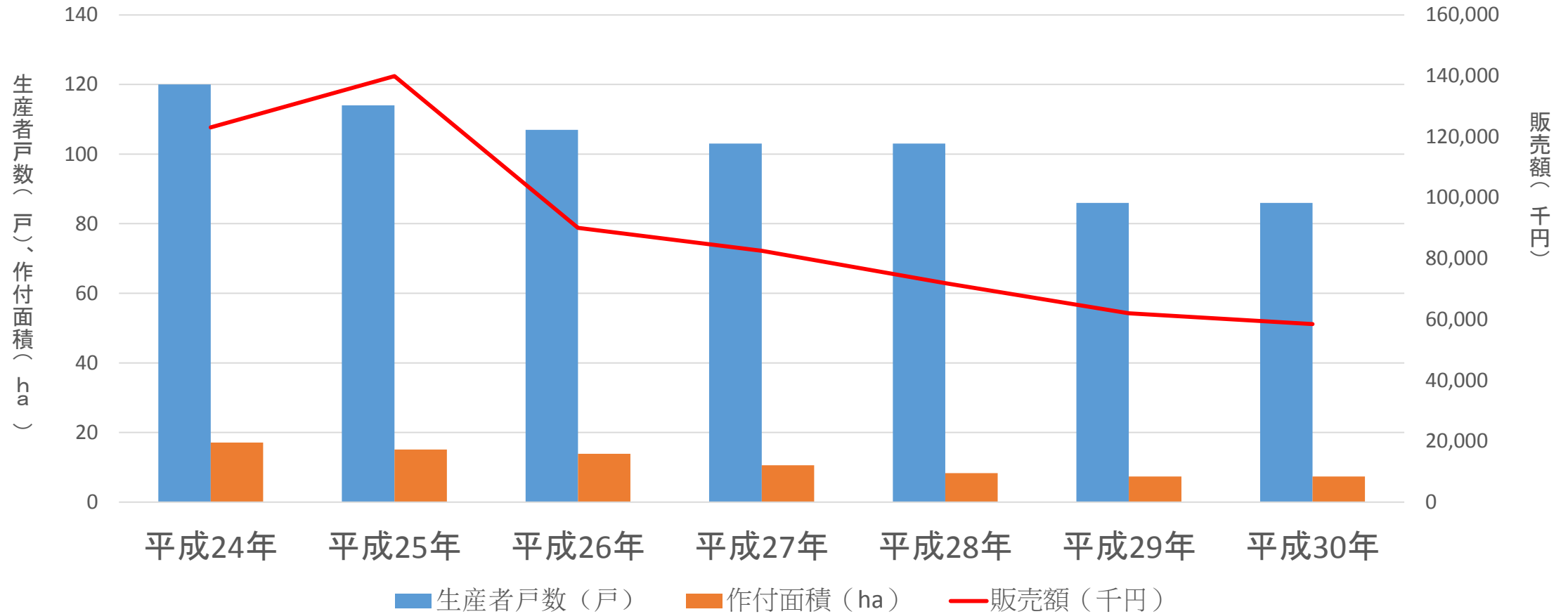


# らっきょう

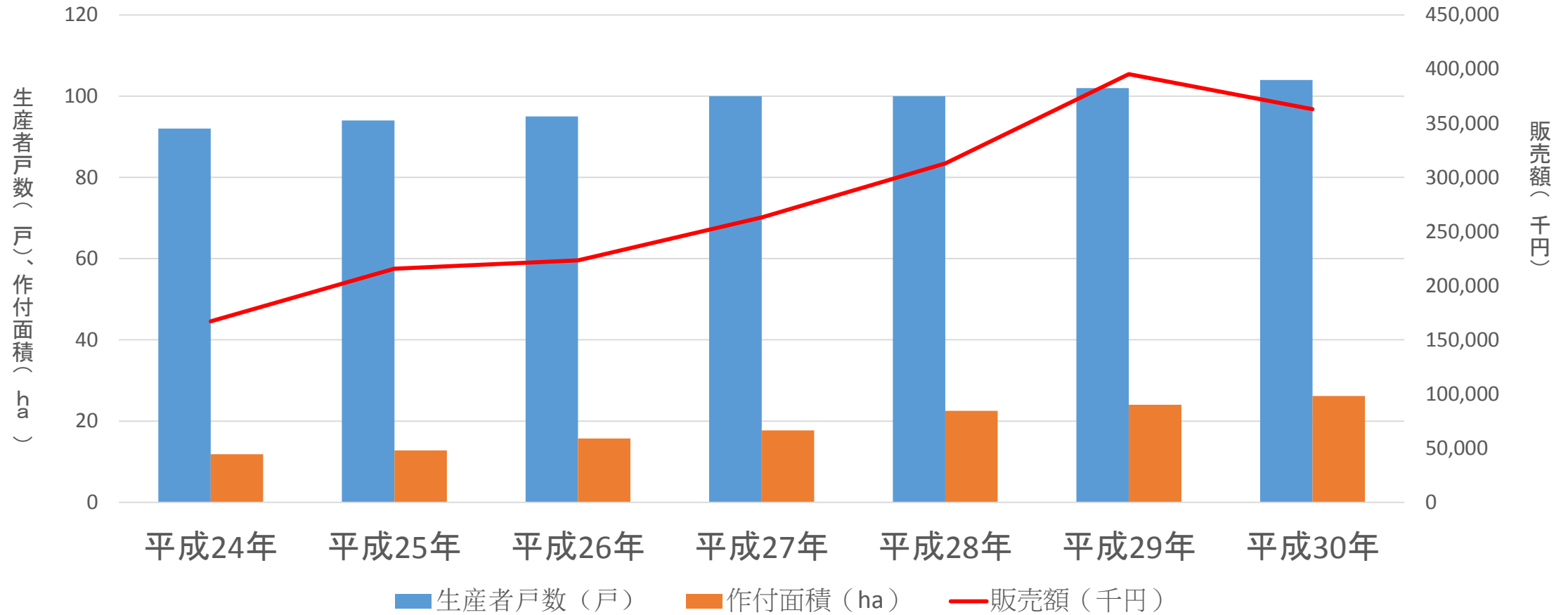




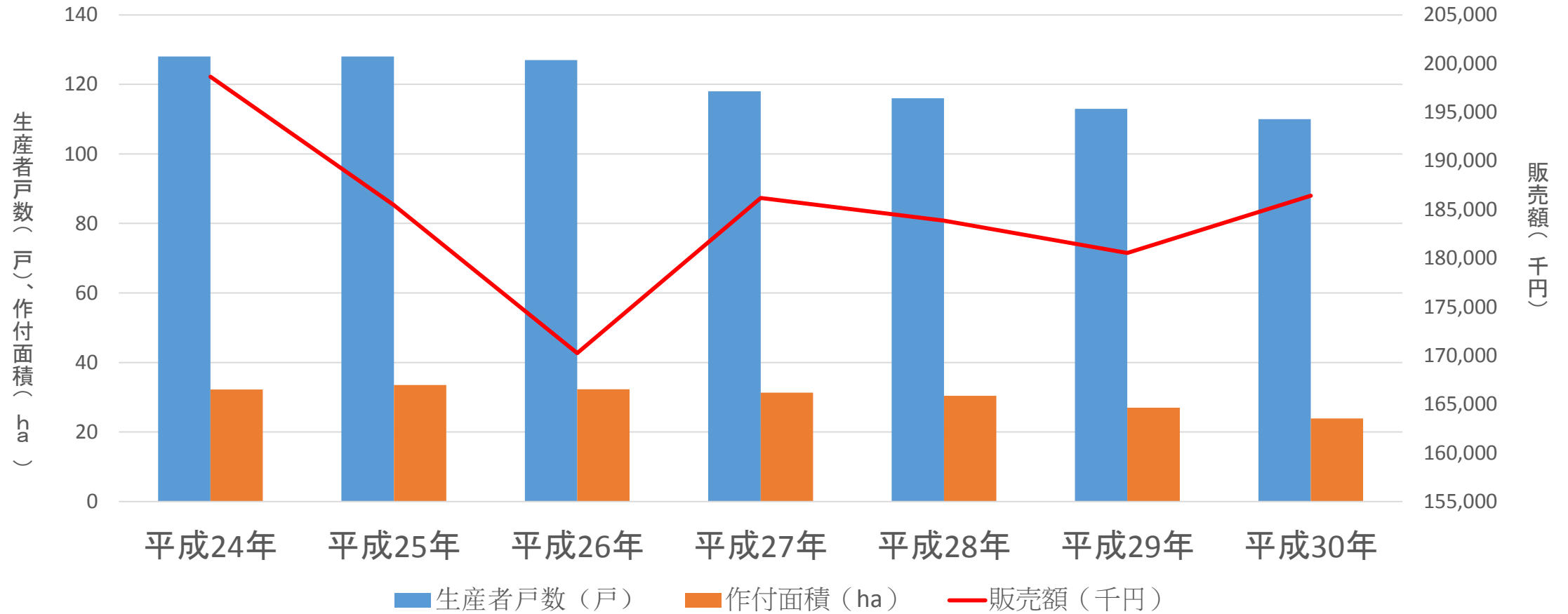
# 長いも



# ねばりっこ

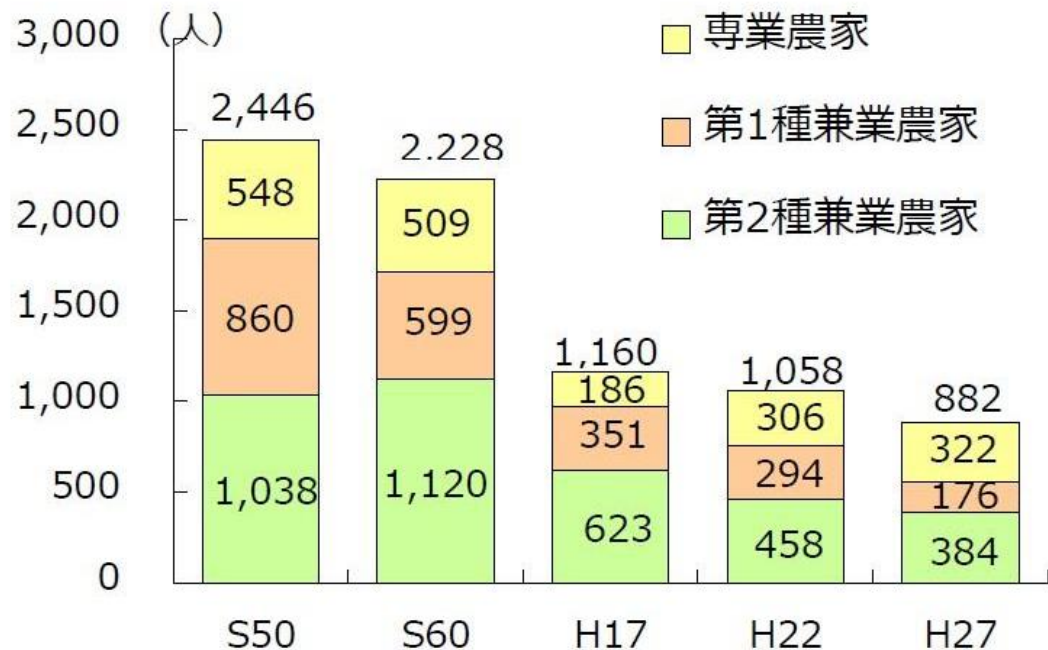


# ぶどう

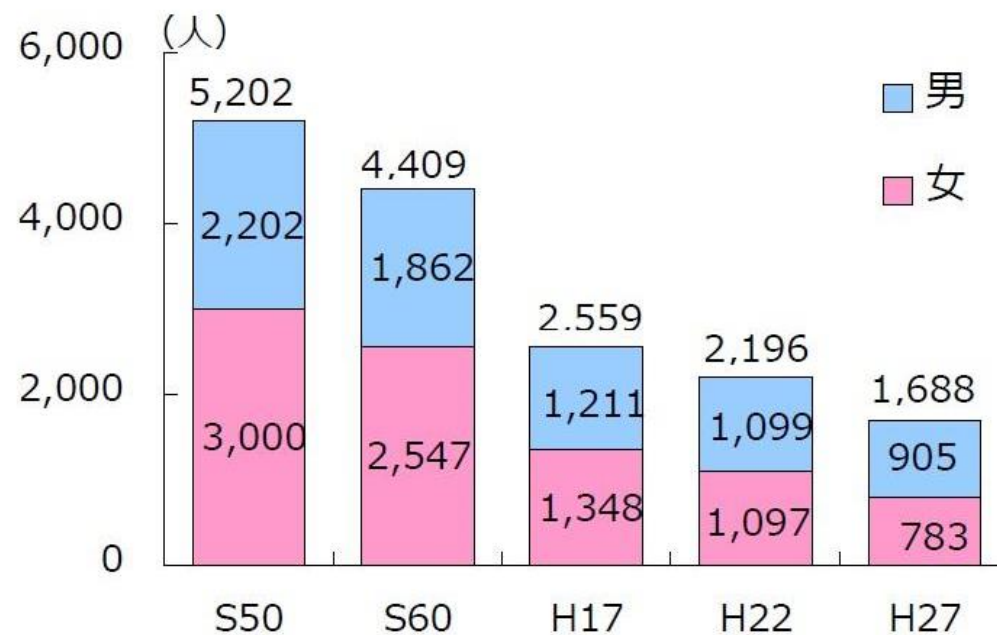


# 3. 農業者数推移

● 専業兼業別農家数の推移

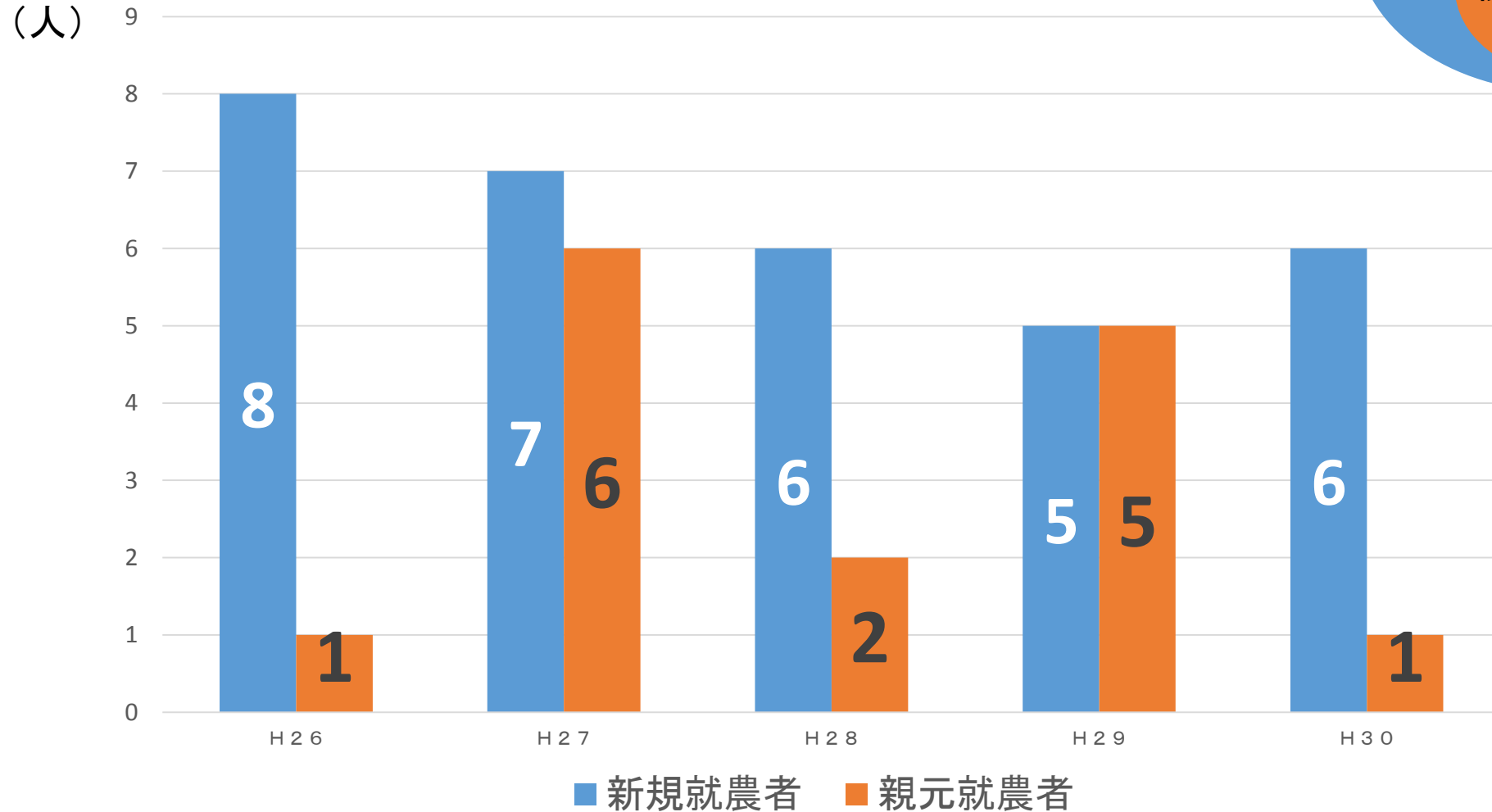


● 農業就業人口の推移



< 農林業センサス >

# 4. 新規就農者数

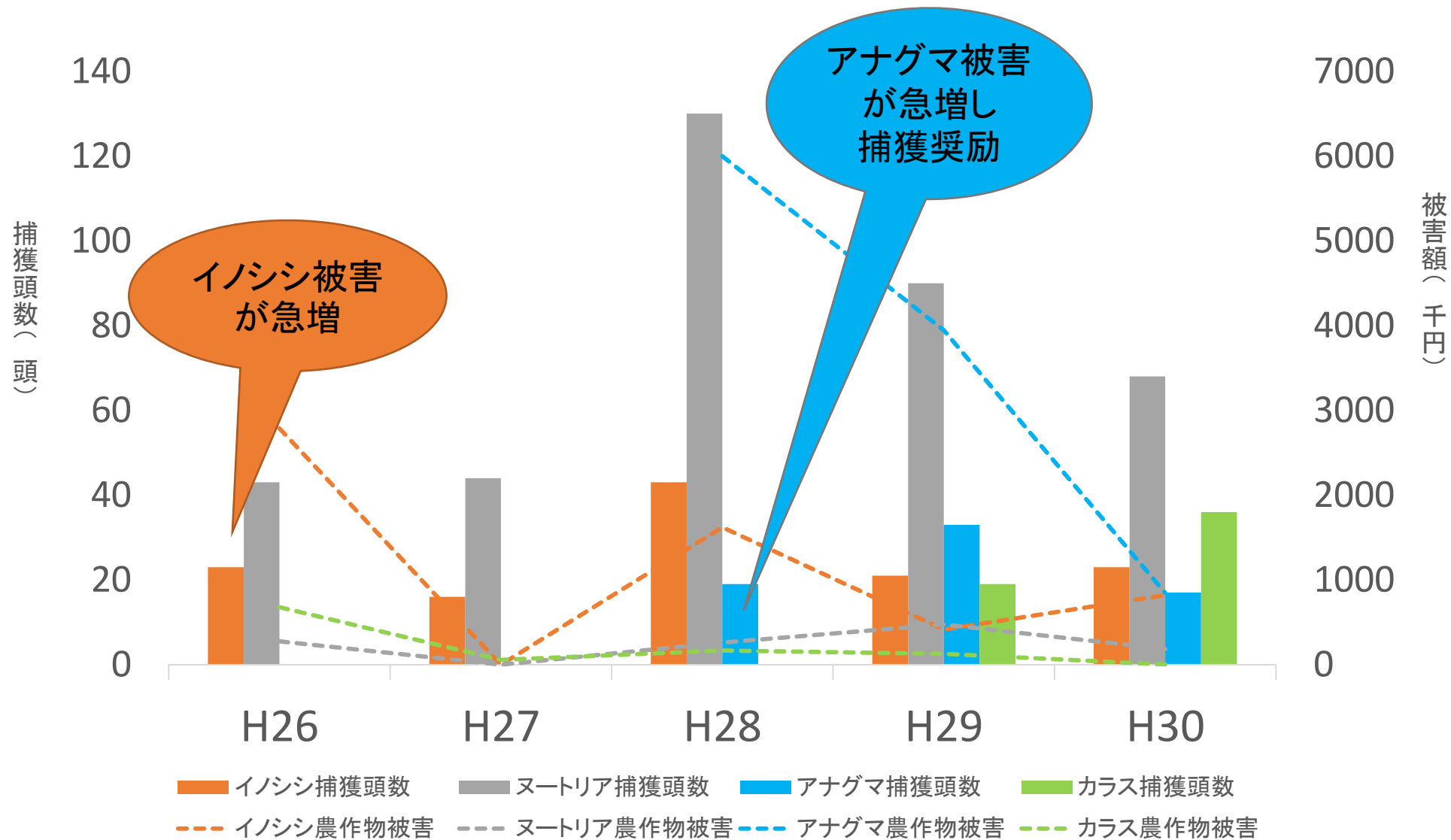


# 5. 新規就農者向け支援

事業名	内 容
<b>就農条件整備事業</b>	<p>農協又は公社が認定新規就農者に対し、就農時に必要な機械・施設を貸与するために整備する場合又は認定新規就農者自ら就農時に必要な機械・施設を整備する場合に助成</p> <p>一人当たりの事業費上限額 1200万円</p> <p>負担割合 県1/3 市町村1/6 本人1/2</p>
<b>農業次世代人材投資事業 (経営開始型)</b>	<p>就農後の経営安定、定着促進のため、就農時45歳未満の認定新規就農者に対し、就農後最長5年間給付金を給付</p> <p>給付額 150万円/年</p>
<b>就農応援交付金</b>	<p>認定新規就農者に対し、就農初期に係る運転資金、機械・施設の整備費等に活用できる交付金を交付 (青年就農給付金の対象とならない者に対する支援)</p> <p>交付額上限額</p> <p>1年目：10万円/月    2年目：6.5万円/月    3年目：4万円/月</p> <p>負担割合 県2/3 市町村1/3</p>
<b>親元就農促進支援交付金</b>	<p>認定農業者等の後継者が、親（3親等以内の親族を含む）の経営に従事しながら、親元で研修を行う場合に最長2年間交付金を交付</p> <p>交付額 10万円/月</p> <p>負担割合 県2/3 市町村1/3</p>

# 6. 有害鳥獣の捕獲頭数推移

※捕獲頭数は捕獲奨励金対象のみ



# 7. 有害鳥獣被害を防ぐための対策



## エサ場となる場所を作らない

- ・ 摘果した農作物は埋めるなどの対策をする



## 近づきにくい環境を作る

- ・ 使用していない小屋や資材を片付ける
- ・ ほ場の中に緩衝帯を作る



## 捕獲による個体数の減

- ・ 生態や行動の把握
- ・ 有効な捕獲方法の検討



# 8. 有害鳥獣被害を防ぐための具体的対策

## 捕獲檻の貸し出し

- 捕獲檻を導入（国事業：町鳥獣被害対策協議会）  
小型檻75基、中型檻5基、大型檻5基

## 捕獲奨励金の拡充

- アナグマ捕獲奨励金 3,000円（町単独事業）

## 地域おこし協力隊の採用

- 特に被害の集中している「東高尾、西高尾、上種地区」に地域おこし協力隊を採用し、有害鳥獣対策及び竹林整備を実施

## 講習会等の開催

- 平成28年度には、「アナグマ被害対策講習会」を開催